る。
而して我組合同盟は日本労農党に与へられたかゝる使命を果すが為めに必要なる左の條件を具備す。

(1) 組合同盟は之を構成する組合は全国的にあり且つ之れが統一ある。
(2) 構成する組合は地域的並に産業別的に確固たる基礎に立てること。
(3) 従つて経済闘争に於ては充分に維持し来ること。
(4) 階級的立場の明確なること。
(5) 従つて政治闘争に組合員の勢力を充分に傾注し得ること。

（實行方法）

一、党支部不組織地域にある組合員にして党員たるものは組合政治部と連絡をとり党支部組織に関する指令を即時実行すること。
二、党員は常に支部に積極的に働らきかけること。
三、党員は党支部の組織化教育闘争による訓練に主力を傾注すること。

(六) 日本労農総聯合積極的擴充に関する決議案

関東合同労働組合提出

我国に於ける労働組合運動統一の努力は、大正十三年度総同盟大会の宣言によつて初めて具体的な方面を与へられた。同宣言は過去に於ける労働運動の経験と共に又大正十一年の全国総聯合創立大会決裂の経験とに排斥することに依り、総同盟が階級的指導精神を確立し、以つて労働組合の全国的統一を實現せんことを主張した。思ふに、我国労働運動の特徴は、その組織が極めて分散的なることと、かゝる状態は我国資本主義の特殊な発展に照應するものである。欧洲大戦を転期として飛躍的発展を遂げたる我国の資本は労働組合の急速なる自然生成的勃興を伴ひ、労働組合はその分散的孤立的組織たるにも拘らず或る程度の勝利をかち得たのである。この時を特徴づける第二の点は、かゝる分散的孤立的な組合が先進諸国で成熟せる種々なる思想形態に支へられ区々たる指導精神を抱いて相対立することとである。言はゞそれは労働運動に於ける群雄割拠の時代であつた。然るにかゝる状態は、大正九年以来世界を襲へる経済的恐慌に依り、今や資本の攻勢に直面するや最早や存續することが出来なくなつた。賃銀の低下、労働時間の延長、失業群の増加、斯くして極度の労働不安が現れ、争議は益々苦境に追い込まれるに至つた。更に又資本家の階級的圧迫は次第に促進せられ、政治的弾圧は我が無産階級に加へられるに至つた。かくて従来の

協調会労働課